

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニチリョク

コード番号 7578 URL <http://www.nichiryoku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼専務執行役員 (氏名) 矢田 欣也

TEL 03-3396-3052

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,490	△18.3	△34	—	△97	—	△73	—
26年3月期第2四半期	1,823	14.7	181	—	110	—	41	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△5.90	—
26年3月期第2四半期	3.35	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	11,410	3,636	31.9	290.92
26年3月期	11,102	3,800	34.2	304.09

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,636百万円 26年3月期 3,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	△10.8	220	△49.2	90	△70.3	45	△67.3	3.27

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	13,741,014 株	26年3月期	13,741,014 株
27年3月期2Q	1,242,584 株	26年3月期	1,242,584 株
27年3月期2Q	12,498,430 株	26年3月期2Q	12,498,678 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。上記予想数値に関する事項につきましては、「添付資料」P.3「当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、円安に伴い輸出関連を中心に企業収益が改善するものの全体的には弱めに推移し、特に足元の個人消費は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動や物価上昇に伴う実質所得の低下等の要因により停滞しました。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業においては、埋葬の選択肢が多様化するに伴い比較的高価格となる墓地墓石の購入者は年々減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、供養の全てを網羅し価格においてもご満足いただける室内陵墓事業へ比重の転換を図っております。

葬祭事業では、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心とした業者間の価格競争は激化し、顧客単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、家族葬を中心としたラステル葬が顧客からの支持を受け、葬儀売上に貢献しております。

しかしながら、消費税率引き上げ後の個人消費の冷え込みや昨年における室内陵墓「覚王山陵苑」の完売が影響し、当社の売上は前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高14億9千万円（前年同四半期比18.3%減）、営業損失3千4百万円（前年同四半期営業利益1億8千1百万円）、経常損失9千7百万円（前年同四半期経常利益1億1千万円）、四半期純損失7千3百万円（前年同四半期純利益4千1百万円）となりました。

セグメントの状況

1. 霊園事業

従来式の屋外墓地につきましては、比較的高価格となる墓地墓石の買い控え並びに小規模区画傾向が続く環境下、一つのお墓に多数のお骨を収める共有墓や樹林墓等の募集を進めましたが、個人消費低迷の影響を受け、売上高は5億1千5百万円（前年同四半期比22.9%減）となりました。

2. 室内陵墓事業

第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、顧客の価値観を超える重厚な施設と立地が好感を呼んでおり、計画通り順調な販売実績を上げております。しかしながら、昨年における覚王山陵苑完売の影響を受け、売上高は3億3百万円（前年同四半期比39.5%減）となりました。

3. 葬祭事業

葬儀の小規模傾向が一層顕著となり、施行単価は下落しております。当社は、生花祭壇葬「愛彩花(あいさいか)」と共に、家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド、ご遺体安置施設「ラステル(ラストホテル)」を運営しております。これは、「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の顧客ニーズに合致しており、施行件数は順調に推移しております。売上高は6億7千1百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、114億1千万円となり、前事業年度末に比べ3億8百万円増加いたしました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、1億2千6百万円減少し、41億1千9百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金9千1百万円及び完成工事未収入金7千万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、4億3千4百万円増加し、72億9千1百万円となりました。その主な要因は、霊園開発協力金5億2千7百万円の増加、差入保証金1億2千5百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、9千4百万円増加し、34億9千3百万円となりました。その主な要因は、短期借入金2億3百万円の増加、未払法人税等6千3百万円及び買掛金4千7百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、3億7千8百万円増加し、42億8千1百万円となりました。その主な要因は、長期借入金3億7千6百万円の増加によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億6千4百万円減少し、36億3千6百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億6千7百万円の減少によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、主に霊園開発協力金の純増による支出及び長期借入金の純増による収入があり、前事業年度末に比べ8千7百万円減少し、23億6千2百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億4千4百万円(前年同四半期は5千7百万円の獲得)となりました。これは主に、利息の支払6千4百万円、法人税等の支払6千9百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4億5千3百万円(前年同四半期は2億1千万円の獲得)となりました。これは主に、霊園開発協力金の純増による支出5億2千6百万円、差入保証金の回収1億2千4百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、5億1千万円(前年同四半期は6億8千7百万円の獲得)となりました。これは主に、長期借入金の純増による収入3億5千8百万円、短期借入金の純増による収入2億3百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年11月6日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,138,355	3,047,298
完成工事未収入金	100,188	30,104
売掛金	166,921	160,654
永代使用権	371,520	340,317
未成工事支出金	300,702	304,772
原材料及び貯蔵品	81,713	112,559
その他	85,825	123,460
貸倒引当金	△17	△49
流動資産合計	4,245,210	4,119,118
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,093,703	1,063,817
土地	1,535,523	1,535,523
その他(純額)	30,994	26,517
有形固定資産合計	2,660,221	2,625,859
無形固定資産	126,185	174,071
投資その他の資産		
長期貸付金	172,094	168,751
差入保証金	1,204,038	1,078,276
霊園開発協力金	1,233,950	1,761,224
その他	1,495,238	1,517,408
貸倒引当金	△34,816	△34,101
投資その他の資産合計	4,070,506	4,491,559
固定資産合計	6,856,913	7,291,490
資産合計	11,102,123	11,410,608
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,191	55,053
短期借入金	359,282	563,218
1年内返済予定の長期借入金	1,797,323	1,797,208
1年内償還予定の社債	487,000	544,800
未払法人税等	72,435	8,828
賞与引当金	37,600	27,600
その他	542,596	496,432
流動負債合計	3,398,429	3,493,140
固定負債		
社債	1,003,000	997,200
長期借入金	2,447,730	2,823,798
退職給付引当金	260,351	282,115
役員退職慰労引当金	174,835	164,894
その他	17,185	13,447
固定負債合計	3,903,102	4,281,455
負債合計	7,301,532	7,774,595

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,842	1,306,842
資本剰余金	958,082	958,082
利益剰余金	1,743,535	1,576,104
自己株式	△227,529	△227,529
株主資本合計	3,780,931	3,613,500
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,986	41,241
繰延ヘッジ損益	△15,325	△18,729
評価・換算差額等合計	19,660	22,512
純資産合計	3,800,591	3,636,012
負債純資産合計	11,102,123	11,410,608

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,823,158	1,490,172
売上原価	550,992	508,702
売上総利益	1,272,166	981,469
販売費及び一般管理費	1,090,836	1,015,471
営業利益又は営業損失(△)	181,329	△34,001
営業外収益		
受取利息	2,210	2,177
受取配当金	7,444	7,444
その他	10,625	13,629
営業外収益合計	20,280	23,251
営業外費用		
支払利息	60,559	61,631
その他	30,100	25,497
営業外費用合計	90,660	87,128
経常利益又は経常損失(△)	110,949	△97,879
特別損失		
固定資産除却損	15,656	84
特別損失合計	15,656	84
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	95,292	△97,964
法人税、住民税及び事業税	43,275	4,391
法人税等調整額	10,195	△28,663
法人税等合計	53,471	△24,271
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,821	△73,692

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	1,844,599	1,565,717
原材料又は商品の仕入れによる支出	△470,853	△505,380
人件費の支出	△586,156	△548,050
その他の営業支出	△545,369	△531,338
小計	242,220	△19,052
利息及び配当金の受取額	7,753	7,682
利息の支払額	△64,492	△64,108
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△127,599	△69,006
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,882	△144,485
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23,982	△23,130
定期預金の払戻による収入	20,000	22,000
有形固定資産の取得による支出	△1,206	△5,323
無形固定資産の取得による支出	△12,138	△52,742
貸付金の回収による収入	6,486	3,343
霊園開発協力金の支出	△57,923	△526,084
霊園開発協力金の回収	193,427	—
差入保証金の差入による支出	△301	△176
差入保証金の回収による収入	100,836	124,679
その他	△14,341	4,220
投資活動によるキャッシュ・フロー	210,855	△453,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	650,008	700,016
短期借入金の返済による支出	△578,469	△496,080
長期借入れによる収入	1,333,214	1,332,463
長期借入金の返済による支出	△936,595	△974,046
社債の発行による収入	488,708	293,834
社債の償還による支出	△174,000	△248,000
自己株式の取得による支出	△103	—
配当金の支払額	△93,533	△93,838
その他	△1,570	△3,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	687,658	510,611
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	956,396	△87,088
現金及び現金同等物の期首残高	1,637,001	2,449,319
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,593,397	2,362,230

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。